

【羽村堰から玉川上水ハイキング】

2023年4月16日(日)

■往路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻	
草加(区急館林)	7:18	7:23	¥178
新越谷/南越谷	7:44	8:24	¥945
西国分寺	8:28	8:33	
立川(2番青梅行)	8:39	9:04	
小作	1時間14分		¥1,123

■コースタイム(1.4倍見学時間を含む)

チェックポイント	時刻	所要時間	
小作駅スタート	9:10	-	1.4
加美緑地	9:24	0:14	0:10
グリーントリム公園	9:38	0:14	0:10
阿蘇神社	10:06	0:28	0:20
いこいの里	10:06	0:00	0:10
一峰院	10:20	0:14	0:10
根がらみ前水田チューリップ	10:41	0:21	0:15
水上公園	10:55	0:14	0:10
旧下田家住宅	11:09	0:14	0:10
羽村市郷土資料館	11:23	0:14	0:10
見学	11:53	0:30	
羽村堰下公園	12:21	0:28	0:20
昼食	13:11	0:50	
清岩院	14:35	1:24	1:00
見学	15:05	0:30	
福生市役所	15:19	0:14	0:10
福生駅ゴール	15:33	0:14	0:10
所要時間合計		6:23	3:15

■復路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻	
福生(快速東京行)	15:44	16:06	¥945
西国分寺	16:15	16:56	¥178
南越谷/新越谷	17:03	17:08	¥178
草加	1時間10分		¥1,301

交通費：2,246円

歩行距離 8km

●参加者: 21名

原、大畑、秋山、小林、中島、小坂、森、高橋、一ノ瀬、笠原

青木、森岡、笠原、北爪、高原、池澤、小野寺、西山、小澤、宮原、桜井

草加ハイキングの会

龍珠山一峰院

臨済宗建長寺派のお寺で、応永31年(1424)三田雅楽助平将定の開基とされ、開山は周防国(山口県)高山寺に住した玉英賢範です。宝暦九年(1759)に焼失し、七年後の明和三年に再建されました。寺室に十一面観音像、不動明王像、承応元年(1652)と元禄期に作られた袈裟、および安永三年(1774)の、近世臨済禅を代表する高僧大林慧昉による「一峰院亀鑑」や、あらゆる階層の人々から寄進された大般若経六百巻などがあります。また境内には経塚や天保年間建立の出羽三山碑もあります。

一峰院の鐘楼門

当門の構造形式は、一間三戸、鐘楼門、入母屋造棧瓦葺であり、正面は南に面しています。建築年代は文政2年(1819)頃で、大工は堂宮大工小林藤馬です。この門の大きな特徴は、文寺院の山門としての楼門と鐘楼を兼ねていて、二階部分が、梵鐘を釣るために一般的な楼門と比べて建ちが高く、壁がもうけられていないことです。また、一間門であるにもかかわらず、ミカ所に扉が付いていることや、すべての柱に各柱を用いている

羽村取水堰

多摩川の河口から上流約54kmに位置し、川をせき止める投渡堰、固定堰、魚類が行き来する魚道及びせき止めた水を羽村取水堰は玉川上水と同時に建設され、承応2(1653年)に完成しました。玉川上水は、江戸の人口が増えたため幕府が多摩川の水を江戸に引く計画を立て、当初は国立の青柳付近、次いで福生の熊川付近に取水口を設けましたが失敗し、現在の羽村地点となりました。

福生山 清岩院

境内の本堂前にある池泉回遊式庭園は、「東京の名湧水57選」に選ばれる湧水によるもの。池泉のみならず境内は水路が巡らされ清流が流れます。清岩院は1394~1428年の応永年間に建立。庭園を囲むように本堂、弁天堂などが建ち「福生十景」にも選ばれています。門前に建つ江戸時代中期の庚申塔「元禄十二年銘庚申塔」は福生市内では最古のもの。この庚申塔のほか、菩薩立像、釈迦三尊像、弁財天半跏像、弁財天坐像が福生指定有形文化財、そして所蔵する彫刻及び絵画も福生市の登録文化財。



桜井義男携帯080-5885-8868